

春季生活闘争に向けたセミナーとパネルディスカッションを開催

連合東京は毎年、春季生活闘争にあたり、連合方針について理解を深めるとともに、労使交渉の参考として活用いただけるセミナーを開催しています。今年は1月14日(木)に、セミナーとパネルディスカッションの2部構成で開催しました。感染症対策としてオンラインでの開催となりましたが、構成組織より多くの参加がありました。

前半は、連合労働条件局の藤川局長より「連合2021春季生活闘争方針のポイント」、東京大学の水町勇一郎教授より「2021年の労働法の動き」、日本労働弁護団の中村優介事務局次長より「コロナ禍における春闘と対応」のテーマで講演いただきました。

後半は、連合東京の斉藤事務局長がコーディネーターとなり、水町教授、中村事務局次長をパネリストに、パネルディスカッションを行いました。前半の講演内容を深掘するとともに、オンライン参加者からの質問をリアルタイムにパネリストに答えていただく形式で進行しました。

一方的になりがちな講演のスタイルとは異なる、双方向のやり取りで、異なる立場からの視点で、労使交渉のポイントを聞くことができたと思います。連合東京は、今後も時宜にかなったテーマで、開催方法も工夫しながらセミナーを企画していきます。